

事業番号	10 04 01	事業改善シート（30年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	治山事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課			
		実施期間	S29 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標								
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化							

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	県内には山地災害危険地区等の保全対象となっている集落数が3,600集落あり、そのうち、既に対策工等がとられ、概成又は一部概成している集落数は、2,020集落(H30末 整備率:約56%)となっている。最近では、ゲリラ豪雨といわれる短時間に集中的な降雨による山地災害が頻繁に発生していることから、山地災害危険地区を有する集落の保全を図ることが喫緊の課題となっている。	30年度 決算額	4,399,241 千円								
		職員数	57.03 人								
目指す姿	森林の持つ土砂災害防止機能を発揮させるため、適切な間伐や治山施設の整備など、災害に強い森林づくりを目指す。 成果目標:治山事業により新たに保全される集落数 200集落(H30~R4) 整備率 54%(H28) → 61%(R4) (主な実施内容:荒廃山地等の復旧、整備や保安林の機能を維持強化するための森林整備など)										
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況						
	予算額	前年度繰越	1,003,811	2,221,660	2,143,596	No	成果指標	29年度	30年度		
		当初予算	4,409,115	4,180,322	4,113,297				目標値	成果	達成状況
		補正予算	738,353	140,976	0						
		合計(A)	6,151,278	6,542,958	6,256,893						
	Aの 財源	一般財源	410,855	623,903	661,636	①	治山事業により保全される集落数	31	47	45	未達成
		県債	2,993,000	2,999,000	2,747,000						
		国庫支出金	2,744,595	2,916,527	2,831,623						
		その他	2,828	3,528	16,634						
	決算額(B)	3,929,618	4,399,241								
	概算人件費	職員数(人)	53.88	57.03	56.67						
概算人件費(C)		436,536	468,673	465,714							
概算事業費(B(A)+C)		4,366,154	4,867,913	6,722,607							
備考					成果指標 設定理由	①治山事業による施設整備や森林整備により、保全が図られる集落数を成果指標に設定(長野県森林づくり指針目標値)					

目標に対する 成果の状況	本年度、196箇所(繰越を含む年度内完了箇所)で施設整備等を行ったが、国当初内示が想定より少なく継続箇所を優先したことにより、新規箇所が45箇所となったため、新たに保全される集落数は目標に対し96%となった。			
-----------------	--	--	--	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	山地災害危険地区等の保全対象となっている集落数が3,600集落のうち、既に対策工等がとられ、概成又は一部概成している集落数は、H30末で2,020集落(整備率:約56%)であり、引き続き整備を進める必要がある。	令和元年度も引き続き山地災害危険地区等が存在する集落の保全に努める。特に山地災害危険地区の危険度ランクAの箇所及び災害時要援護者関連施設に関する箇所について優先的に整備を進める。

### 3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		(公共)山地治山総合対策	山地災害、地すべり等の復旧・軽減を図るとともに、荒廃森林の機能の復旧を図った。【復旧治山ほか50箇所】	13.39	2,021,319	2,534,306	1,990,909
2		(公共)水源地域等保安林整備	水源地域の荒廃森林において、森林の整備と荒廃地の復旧整備を行い、水資源の確保と県土の保全を図った。【水源森林再生ほか28箇所】	7.15	657,173	645,656	715,065
3		(公共)農山漁村地域整備 治山	荒廃山地、荒廃危険地等の山地を復旧整備することにより、水土保持機能の高度発揮と下流域の漁場環境の保全を図った。【予防治山ほか24箇所】	6.24	1,203,148	858,437	1,095,535
4		(県単)林地荒廃(災害復旧)、施設修繕	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事で荒廃地の復旧、応急対策、施設修繕等を行った。【小諸市ほか75箇所】	18.27	256,482	292,471	256,482
5		(県単)治山施設リフレッシュ	土砂流木の除去、ボーリング孔の目詰まりの洗浄等の施設の機能回復を図る工事を行った。【佐久市ほか19箇所】	11.98	42,200	68,371	55,306
合計				57.03	4,180,322	4,399,241	4,113,297

### 事業改善シート附表

当初要求   
当初予算案   
補正予算案   
点検

事業番号	事業名	治山事業				部局	林務部	課・室	森林づくり推進課			
10 0 04												
細事業 No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度				
							当初（千円）	要求（千円）	当初（千円）	補正（千円）	決算（千円）	
1	（公共）山地治山総合対策	治山事業により保全される集落数	直接	山地災害、地すべり等の復旧・軽減を図るとともに、荒廃森林の機能の復旧を図る。【復旧治山ほか40箇所】	山地災害、地すべり等の復旧・軽減を図るとともに、荒廃森林の機能の復旧を図った。【復旧治山ほか50箇所】	計画通り○	2,339,457	2,021,319	2,021,319	349,660	2,534,306	
2	（公共）水源地域等保安林整備	治山事業により保全される集落数	直接	水源地域の荒廃森林において、森林の整備と荒廃地の復旧整備を行い、水資源の確保と県土の保全を図る。【水源森林再生ほか20箇所】	水源地域の荒廃森林において、森林の整備と荒廃地の復旧整備を行い、水資源の確保と県土の保全を図った。【水源森林再生ほか28箇所】	計画通り○	526,930	657,173	657,173	-138,062	645,656	
3	（公共）農山漁村地域整備治山	治山事業により保全される集落数	直接	荒廃山地、荒廃危険地等の山地を復旧整備することにより、水土保全機能の高度発揮と下流域の漁場環境の保全を図る。【予防治山ほか27箇所】	荒廃山地、荒廃危険地等の山地を復旧整備することにより、水土保全機能の高度発揮と下流域の漁場環境の保全を図った。【予防治山ほか24箇所】	計画通り○	1,264,746	1,203,148	1,203,148	-202,842	858,437	
4	（県単）林地荒廃（災害復旧）、施設修繕	治山事業により保全される集落数	直接	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事で荒廃地の復旧、応急対策、施設修繕等を行う。【小諸市ほか62箇所】	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事で荒廃地の復旧、応急対策、施設修繕等を行った。【小諸市ほか75箇所】	計画通り○	256,482	256,482	256,482	72,681	292,471	
5	（県単）治山施設リフレッシュ	治山事業により保全される集落数	直接	土砂流木の除去、ボーリング孔の目詰まりの洗浄等の施設の機能回復を図る工事を行う。【佐久市ほか10箇所】	土砂流木の除去、ボーリング孔の目詰まりの洗浄等の施設の機能回復を図る工事を行った。【佐久市ほか19箇所】	計画通り○	21,500	42,200	42,200	59,539	68,371	
合 計								4,409,115	4,180,322	4,180,322	140,976	4,399,241